

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	マットや衝立、机の配置などにより活動スペースの分化を行っている。	1日の利用定員の増加と児童の年齢差などを考慮して、2階スペースを活用した小グループでの活動も検討。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	基準以上の配置をしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	1		現在、配慮が必要な児童はいないが、必要性が生じた際には対応検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	4	0	ミーティングや課題検討等で意見交換している。	職員が多いため(パートを含む)全員で統一した会が持てていない。業務に関する情報伝達や意見交換について、確認ととりまとめの方法の検討が必要。常勤の職員が主となり、1日の支援について送迎後の振り返りの機会も検討。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	3	0	連絡帳等での保護者様からのご意見、アンケートを元に、適宜見直しを行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	1	ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	5		第三者委員は無い。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1	0	スキルアップ研修のほか、職員各々で研修に参加し自己研鑽している	事業所内での勉強会なども企画し、更なる研鑽を行っていく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	0	JS学童用の簡易アセスメントツール、感覚プロフィール、生活スキルチェックシート、人との関わりレベルシートを活用している。メインシートを活用して事業所内でケース会議を行い、計画書を作成している。	運動、認知、適応行動などについて評価の内容や方法の見直しを行う
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	0	現在ツールの準備はできている。	適応行動アセスメントの内容理解と方法について学習の機会をつくる必要がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	0	土曜日や長期休暇時の活動プログラムを職員間で話し合い決定している。	週案、月案や、それぞれの児童の課題やスキルのレベルを整理して活動が検討できるようにする必要がある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2	0	同じ活動の中で、目的に応じた枠組みや内容に変化をつけている	コロナウイルス感染症状況をみながら、公共交通機関の利用などを再開できるように検討していきたい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2	0		平日と長期休暇中、それぞれの児童の課題やスキルのレベルを整理して活動が検討できるようにする必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	0	学習の時間に個別の自立課題やSSTを設定し、行っている	課題を実施した上での結果の共有と段階付けなど検討していく必要がある。また、各児童に合わせた設定ができるように、課題の種類や内容を増やしていく必要がある
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	・支援開始前に行っている ・状況に応じてその場で共有している ・開始前に一本化している	長期休暇中は朝の送迎や送迎後に活動に入るため、打ち合わせや役割分担が十分に行えていない。紙面で各職員が確認できるような工夫が必要。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	3	・送迎や記録などの業務があり、十分に行えていない。 ・記録を目標に則して行うように簡素化している。	・常勤の職員が送迎時に事業所に残り、支援の振り返りを行うなど体制の見直しを行う必要がある。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2	0	毎日の支援記録を記載している。	各児童の障害特性と、それに適した支援、結果、次の対応など、記録の仕方について職員間で統一できるようにしていく必要がある	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	保護者の方々への電話または面談にて自宅や学校での状況を確認し、計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	2	1	余暇活動（遊び）、運動、学習、休暇時の集団活動などを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	1	基本的に児童発達支援管理責任者が出席している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	3	1	・送迎時に情報共有や下校時刻の確認を行っている。 ・緊急時や送迎の変更等がある場合は電話連絡や保護者を介して連絡をとるようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1	1	訪問看護が介入している児童について、訪問看護報告書を提出している。 医療的な確認が必要な内容については、保護者や相談支援専門員を介して確認している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	1	・利用開始前に引継ぎ会や保育園への訪問を行い、情報共有を心掛けている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	1	相談支援専門員を介して情報提供を行っている。	事業所同士の情報交換が適宜行え、円滑な移行ができるように取り組んでいきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	1	センター主催の研修に職員個々の希望に応じて参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	7	現状では機会の設定はできていない。	必要性も含め、今後検討していきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	2	児童の連絡会や他の自立支援協議会に管理者が出席している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	送迎時の利用状況説明や連絡帳の記載、個別支援計画書の見直しに際しての面談や電話確認を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	4	・ベアトレなどが必要な保護者には他機関で行われている情報の提供を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2	0	施設内に閲覧できるようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	3	0	・適宜、助言などは行っているが不十分。	・送迎時や連絡帳でのやりとりのみでは育児に関する助言などが十分に行えない部分もあるように感じている。必要に応じて面談などでの個別相談の機会を増やしていくことを検討。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	6	コロナウイルス感染症により本年度の家族会は行っていない	コロナウイルス感染症状況をみながら、年2回程度の家族会の再開を計画していきたい

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情対応窓口を設置している。</li> <li>・事業所にご意見箱を設置している。</li> </ul>	・苦情等があった際は主訴を確実に把握し、より迅速な改善策立案と対応の実施、実施後の報告に努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の利用希望票に、土曜日や長期休暇の活動予定を添えて配布している。</li> <li>・必要な連絡を書面にて行っている。</li> </ul>	
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	6		機会があれば地域の行事への参加などから検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対応マニュアル、防災マニュアルを作成している。</li> <li>・保護者には契約時や改訂時に配布している。</li> <li>・職員には事業所内に閲覧できるようにしている。</li> </ul>	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	・定期的に避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	0	・職員全員研修を受けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止、身体拘束のマニュアルを作成している。</li> <li>・個別支援計画書に記載している。</li> </ul>	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3	2	保護者からの情報に基づき対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	1	5	ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティング時に対策の検討を行っている。	十分に活用されていない現状があり、決まった対応策の周知なども踏まえて強化していく必要がある。